

## 「初秋の八島湿原(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「八島湿原」は、尾瀬のような美しい景観を持っているが、駐車場で車を降りて、わずか数分で到着できる。「お得な」湿原と言えるだろう。夏休みの最後の週末だったので、駐車場は混んでいた。木道ですれ違う人も多かった。



駐車場からすぐの「八島湿原園地」(広場)からは、すぐ左側に「鷲ヶ峰」(1798m)が見える。この山を越えて、黒曜石の産地として有名な和田峠へ抜けることもできる。



正確には「八島ヶ池湿原」という。ハート型をした湿原の周囲に小さな池塘(ちとう)がいくつかある。もともとは現在の湿原全体が湖だったのだろう。長い

年月の間に草原になってしまったのだ。地形図よく見ると、湿原の中にも等高線があり、一部が盛り上がり、「高層化」していることがわかる。



遠くに車山も見える。山頂に気象レーダーのドームがあるので、この山だけは見間違えることはない。車山へも比較的楽に行ける、ハイキングコースがある。



上の2枚の写真は、同じ場所から見た、今年5月と8月の八島ヶ池の比較である。この池塘にはいくつかの「浮島」がある。私は、浮島というものは、毎日のように位置を変えて漂っているのかと思っていた。しかしこの写真を比較すると、大きさも位置もほとんど変化がない。池底と何かでつながっているのだろうか。